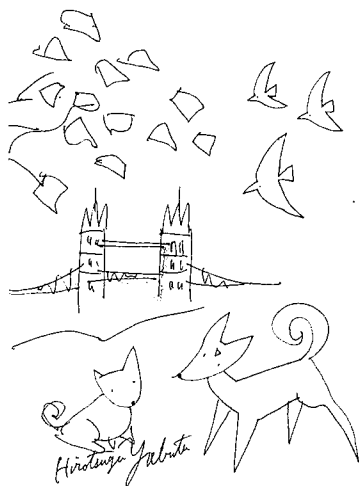


2006年6月に8匹のアークドッグが海を渡り、ロンドンにあるバタシーの施設を通して新しい家庭を見つけました。これは雑誌「英国特集 第5号」に掲載されたマーマール（新：シンバ）の里親さんに行ったインタビューの内容です。



**Q. シンバは海を見たことがあるでしょうか？**

A. わかりませんが、水と海辺に浮かぶ明るい色のカヌーを怖がっていました。シンバは今までこそ、海岸を歩く事を楽しんでいますが、今だに波を怖がっています。でも二度ほど、海の水に足をつけましたよ。

**Q. 高齢の犬を飼おうと思ったのは何故ですか？**

A. 正直言って、年のことはどうでも良かったのです。私が一番関心があったのは、飼い主を必要としている犬

を助けることと、私の海岸での長い散歩と一緒に来てくれる仲間を見つけることでした。バタシーで、色々な犬に面会した時、私はそれぞれの犬の顔をよく見ました。

面会に行く前に私は「私が犬を選ぶのではなく、犬が私を選ぶのだ………」と自分に言い聞かせていました。そして、実際にそうになったのです。

**Q. シンバを特に気に入った理由は何ですか？何があなたをシンバに惹きつけたのですか？**

A. 彼女はとても恥ずかしがりやでした。私が彼女のいるケージの前に立った時、私に関心があるような態度を示しました。そして、私がそこを去った時も私がまだいるかどうかを確認するために私の方を見ていたんです。最後にもっと近くでシンバを見た時、私はシンバがとても可愛らしい顔をしていることに気がつきました。実際、私は彼女が微笑んでいたと思っています。その時私はシンバとの運命の出逢いを感じたのです。

**Q. あなたが、初めてシンバを家に連れていった時、シンバはどういう感じでしたか？**

A. 初め、車に乗せた時、シンバは幸せそうで、車の窓から顔を出していました。車の渋滞に合った時も運転手が驚くほど、ハッピーな様子でした。しかしながら、長い渋滞に巻き込まれ、帰るまでに3時間くらいかかってしまい、シンバにはつらかったようです。やっと家に着いた時、シンバは新しいものに興味を示し、楽しそうでした。しかし、すぐとても悲しそうな態度で、庭に座り込んでしまったのです。それで、私は彼女を散歩に連れ出しました。そこで、私はシンバがとても恐怖感を感じていることを知りました。最初の1週間はシンバは夜も寝ず、又、家にひとり残されることを怖がり、とても難しい時を過ごしました。シンバにとっても私にとってもつらい1週間でした。私はシンバが自信を持つまで、出きる限り冷静に、そして忍耐強くするよう努めました。今、シンバはハッピーな犬になりました。私が朝、仕事に出る時、シンバはまるで、「行ってらっしゃい。」と言っているように窓越しに私を見、又私が帰宅する時は車の音がするとすぐ窓際に来て私を迎えてくれます。そんなシンバを見て私は微笑んでしまいます。

**Q. 犬を飼うことに関して、長い経験をお持ちですか？そういう犬とシンバを比べてみて感じたことはありますか？**

A. 小さかった頃、私はよく、ゴミと一緒に捨てられた子犬や子猫を拾っていました。小さい時はイタリアに住んでいたのです。ですから小さい時から動物には慣れていました。シンバはとてもいい犬です。でも時として色々なものに恐怖感を持っていることがわかります。特にシンバが今までどんな経験をしてきた犬なのかがわからないために、難しいことも沢山あります。

**Q. 言葉の障害はありましたか？シンバは英語にすぐ慣れましたか？**

A. 障害は全然ありませんでした。私はシンバに英語とイタリア語で話しかけますが、シンバはちゃんと言われた通りにします。（これはシンバが賢いからだと思っています！）ひとつおもしろいことは、シンバは海苔が好きでよく食べています。彼女は多分、お寿司が恋しいのではないのでしょうか。

**Q. シンバは家の中はどこでも許されているのですか？ご存知かもしれませんが、日本では多くの場合犬は外で飼われます。**

A. この家に来てからずっとシンバは家の中で暮しています。彼女はひとりで庭に出ることさへ、好まないようです。

**Q. シンバはどこで寝ていますか？貴方の寝室で寝ることを許されていますか？**

A. 最初、キッチンで寝かせていましたが、シンバはキッチンで寝ることを好みませんでした。ですから今は私のベッドの横で寝ています。シンバにはちゃんとベッドがあるのですが、私のベッドの横に敷いたマットで寝ることがしばしばです。シンバはイビキをかくんですよ。私が家で働く時は、私のそば（普通は私の足元で。）で眠っています。

**Q. 彼女は何を食べていますか？日本での食べ物と比べてどうなのでしょう？**

A. 私は依然とドライフードを食べさせています。でも夕方にヨーグルトを食べさせていますが、シンバはとても喜んでます。時々、乾燥した豚の耳や牛肉をおやつにあげることもあります。でもシンバは何でも食べますよ。

**Q. あなたとシンバはスキンシップを持っていますか？**

A. はい、でも私が今までに飼った犬に比べると、シンバは表面的には愛情を表現することが少ないかもしれません。でも時間がたてば変わると確信しています。忍耐強く待たなければならないでしょう。でも毎朝シンバは私が起きると、抱擁や、又顎の下を掻いてもらうために私のところにやってきます。シンバはそうされることがとても好きなんです。ひとこと言わせていただければ、これから救助された犬に家庭を提供しようと思っている方はその犬が新しい環境に慣れるために、又時として過去につらい経験をしたトラウマを乗り越えるために、時間と努力と忍耐が必要であることを覚悟していただきたいということです。その努力は最後にはむくわれるでしょう。忍耐力が大切です。シンバはかけがえない素晴らしい犬です。